



緑丘保育園のしおり



理念

- ① 子どもたちの健やかな成長を目指します。
- ② お父さん・お母さんが、安心して働きつづけ、子育てができるように支援していきます。
- ③ 保育は人が人を育てる仕事です。
職員が、健康でいきいきと働き続けられる職場をつくります。
- ④ ふくしかんと共に、地域の福祉・保育の拠点として根づいていきます。

保育目標

- ✓ 健康なからだとたくましい体力を育てます
- ✓ 豊かな感性と友だちを大切に思う心を育てます
- ✓ 生き生きとした生活意欲を育てます

1969年（昭和44年）4月に
地域の保育要望から
乳児専門園として生まれました。

生後57日からの産休明け保育
20：15までの延長保育
障がい児保育・育児相談を行っています。

子どもを真ん中に
地域や父母の皆さんと職員とで力を合わせて保育を進めています。



01 概要



園名 緑丘保育園（みどりがおかほいくえん）

施設種別 認可保育所（私立）

運営法人 社会福祉法人 民友会

住所 〒152-0034 東京都目黒区緑が丘2-16-6

アクセス 東急東横線／東急大井町線 自由が丘駅より徒歩 5分
東急目黒線 奥沢駅、東急大井町線 緑が丘駅より徒歩 8分

預かり開始年齢 生後57日～

定員	0才 ひよこ	1才 りす	2才 うさぎ	3才 かば	4才 きりん	5才 ぞう	合計
	9名	10名	11名	11名	11名	11名	63名

開所日時	月	火	水	木	金	土	日祝
通常	7：15～18：15						—
延長 保育	18：15～20：15（夕食付） ※夕食なし（補食のみ）19：15まで					—	—

実費徴収 おむつ代（利用回数分に伴う実費など）
延長料金（定期利用、スポット利用など）

職員構成 ※ 園長 1名、主任 1名、保育士 14名、栄養士 2名、調理師 1名、看護師 1名、事務員 1名、保育補助・用務・調理パート 12名、嘱託医 1名

かかりつけ医 おくさわキッズクリニック（世田谷区奥沢3-30-17 TEL03-6425-4970）
半沢歯科医院（目黒区自由が丘3-11-24-2F TEL03-5701-5027）

02 施設紹介



建物まるごと全部が保育園



声や足音を気にせずに
思いっきり遊べるのが自慢！



花や野菜の水やりが子どもたちの日課。なす、キュウリ、じゃがいも、ピーマンなど、毎年、子どもと担任がどの野菜を作るか相談をして、苗を買うところから始めます。



3階



広いテラスが大活躍。夏は大きなプールと小さなプール、タライを置いて、子どもたちの年齢に合わせた水遊びを楽しみます。

2才のお部屋



日当たりがよい園内とテラス



2階

手前が1才のお部屋。元気いっぱい、すぐに散歩に出発！



足腰を鍛える階段。踊り場からは踏切と線路が見えて、電車が走るとみんな大興奮で釘付け！

貸し出し絵本棚から毎日絵本を1冊選んで帰る親子も。



静かにゆっくり過ごせる2階の奥が0才のお部屋。子どもに1つずつベビーベッドを用意しています。



異年齢で過ごす広い空間



1階



3才から5才のお部屋。椅子を並べて全員で話し合うこともあれば、わかれて遊ぶことも。

木の温かみを感じる内装。全館床暖房なので冬でも暖か。足の裏を鍛える裸足保育を実践しています。

03 周辺紹介



1 九品仏川遊歩道



保育園正面と、線路を挟んだ緑が丘駅方面の2か所で遊んでいます。疲れたら切り株に座ってひと休み。0才から楽しめます。

2 奥沢二丁目公園



とても近いので園庭代わり。誰もいない朝いちばんに行き行って遊具や木登り、砂場で夢中になって遊びます。

3 緑丘児童遊園



道中にある亀さんがみんなのお気に入り。混雑しておらず、のんびりと遊べます。てんとう虫やダンゴ虫探しも楽しめます。

4 奥沢車庫



陸橋の上から色々な種類の電車を見て子どもたちは大喜び。線路横の路地では「よーいドン！」とたくさん走ります。



5 中根公園



どんぐりや虫、カエルやおたまじゃくしなど、自然と生き物に多く出会えます。長い滑り台など遊具がたくさんあるのも魅力です。



6 東工大



大学におじゃまして、秋はどんぐりや銀杏拾いをします。芝生や土手のような急な斜面もあり、どの年齢の子とも楽しめます。



7 ねこじゃらし公園



土がむきだしになった丘や大きな段差があり、探検できる秘密基地のような場所です。池もあり、春にはおたまじゃくしを見られます。



8 ぽかぽか広場



とても広い芝生で、へとへとになるまで走り回れます。冬には自分で作った凧上げができ、天気の良いと富士山が見えます。



04 1日の流れ

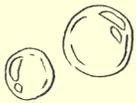


0才

7:15 開園
順次登園
8:00 体調確認

9:00 自由あそび（水あそび）
午前寝

10:00 離乳食・授乳

11:00 昼寝 

12:00

13:00

14:00 離乳食・授乳

15:00 室内遊び

16:00 夕方寝

17:00 室内遊び

18:15 延長保育
19:15 補食または夕食

20:15 閉園 



1-2才

開園
順次登園
体調確認

自由あそび
散歩（水あそび）

昼食
昼寝

13:00

14:00 着替え 

15:00 おやつ

16:00 散歩

17:00 室内遊び

18:15 延長保育
19:15 補食または夕食

20:15 閉園



3-5才

開園
順次登園
体調確認 

自由あそび
朝の会
散歩や集団遊び（プール）

昼食 
昼寝

13:00

14:00

15:00 おやつ

16:00 外遊び・室内遊び

17:00 帰りの会 

18:15 延長保育
19:15 補食または夕食

20:15 閉園



5才になると、食事配膳・雑巾がけ・布団敷のいずれかの当番になります。自分たちだけでなく、3才から5才の全員分を担う重要な役割です。（異年齢保育のこだわり P. 9, 12）

05 年間行事



☆ 父母・ご家族が参加する行事 ★ 地域の方も参加可能

4月

新入園児説明会 ☆
入園・進級お祝い会

5月

父親懇談会 ☆
クラス懇談会 ☆

6月

きりんぐみ お泊り会 (4才)
プール開き

7月

納涼会 ☆ ★
ぞうぐみ 合宿 (5才)

8月

平和のつどい
プール遊び

9月

荒馬ワークショップ (3-5才)
おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう会 ☆ ★
個人面談 (0-2才)

10月

運動会 ☆ ★
個人面談 (3-5才) ☆
いもほり・遠足
バザー ☆ ★

11月

観劇会 ★

12月

クリスマス子ども会
もちつき大会

1月

獅子舞 ☆ ★

2月

節分
クラス懇談会 ☆
20歳 (はたち) のお祝い会

3月

ひなまつり食事会 ★
卒園・進級遠足
お別れ子ども会
卒園式 ☆



その他：誕生会・避難訓練 (毎月)、健診・身体測定 (0才月2回、1才～年3回)、歯科検診・視力検査・保育参観 (年2回)、交通安全教室・歯磨き・手洗い・鼻かみ保健指導 (年1回) など

行事のようす

緑丘保育園では行事当日だけでなくそのずっと前から準備を始めます。

こだわりがたくさん詰まった行事の一部をご紹介します！



きりんぐみ お泊り会

お父さんやお母さんから離れて泊まるのはちょっと心細いけれど、仲間がいるから頑張れる！「夕食は何を食べようか？」「花火をしたい！」などと、子どもたちみんなで相談しながら準備をすすめます。当日はみんなで銭湯に入り、すっきりしたあとは夕食づくり。手づくりの提灯のあかりを照らすと、いつもの保育園と違うみたいです。

大好きな絵本などをテーマに、ちょっと現実の世界から離れ、4才らしい空想の世界をみんなで楽しむのもお泊り会の楽しみの一つです。この年は絵本「めっきらもっきらどおんどん」の中に出てくる妖怪の仲間たちからある日手紙が届き、お泊り会の夜にみんなで神社にお宝探しに行くことに。不思議な色をした青い石を見つけて、全員お揃いの宝物ができました。

ぞうぐみ 合宿

保育園最後の年に行く2泊3日の合宿。これほど長く親から離れて過ごすのは初めてという子どもばかり。まずは身の回りのことを自分でできるように目標を立てて、合宿に向けて取り組みます。子どもたちは昨年のぞうぐみさんが話していたことを思い出しながら、自分たちの合宿では何をしたいか相談して決めていきます。

近年は、東京都あきる野市へ。自然の中で川遊びやバーベキュー、花火や陶芸などを楽しみます。2日目には朝ごはんを食べたら山登りに出発します。弁天山には神社や洞窟、「嘘つき岩」と呼ばれる岩場もあり、仲間と乗り越えることで、子どもたちは強い絆と達成感、自信をつけます。合宿を終え、保育園に戻ってきたときのみんなの誇らしげな顔は必見です！



運動会

「こんなのできるよ」と題して、0才から5才まで年齢の発達にあわせた姿を披露します。みんなに見てもらうのを楽しみに、夏前から少しずつ練習を重ねます。

0、1才は保護者と一緒に、2才は自分の競技が終わったら保護者のもとへ。3才から5才は平均台、鉄棒、縄跳びなど、一人ひとりができることを見てもらいます。年長のぞうぐみはみんなで大縄跳び。どうすれば引っかからずに跳ぶことができるか、挑戦しては考え…と知恵を絞った結果を発揮するときです。そして、運動会の最後には「ラッセラーラッセラー！」と大きな掛け声と共に始まる荒馬踊りがあります。3才から5才の異年齢クラスみんなで作り上げた力強い踊りに、きっとこの一年の成長を感じていただけたと思います。

クリスマス子ども会

3才から5才の幼児クラスは、この日のために練習した劇を披露します。この年は「どうぞのいす」と「おおかみと7匹のこやぎ」を演じました。どんな劇をやりたいか、配役やセリフ、動きに至るまで、小さなことからみんなで話し合っ決めていきます。大道具や小道具も、子どもたちが中心となって作っています。

乳児クラスは星の冠をかぶせてもらい、ぞうぐみさんのキャンドルサービスを見たり、クリスマスの歌を歌って楽しみます。給食のクリスマス特別メニューを食べた後は、みんなお待ちかね！サンタさんからのプレゼントです。クリスマスの思い出がたくさんできる、みんな大好きな日です。






納涼会




ヨーヨーすくい、輪投げ、綿あめなど、夏にぴったりな納涼会を保護者と職員が一緒になって企画します。卒園児や地域の方々もご招待するので、名物のスイカ割りは大盛況！日ごろ送迎ですれ違うだけだった保護者同士も子育ての悩みを相談し合ったり、成長を喜び合ったりと、つながりをつくるきっかけになります。子どもをとおして深まる大人のつながりは、緑丘保育園の宝物の一つです。






バザー




父母会との共催行事で、リサイクル品売り場やゲームコーナー、喫茶スペースを設けます。いちばん人気は保育園調理師さん手作りの「パウンドケーキ」。子どもたちがいつも食べるお菓子を味わえるとあって、保護者はもちろん卒園児や地域の方もみんな楽しみにしています。当時まだ配置基準になかった栄養士を雇うために始めたもので、今は売上を父母会活動費や保育園で使うおもちゃの購入などに充てています。






もちつき大会




もちつきは園児だけでなく地域のお子さんにもついでにもらいます。みんなの「よいしょー！」と元気な声に通りがかりの地域の人たちも「ああ、もうそんな季節ですね」「昔はうちでも毎年やっていましたよ」と懐かしそうに声をかけてくれます。杵の重さ、もち米を蒸したにおい、できあがったおもちの感触、今ではなくなりつつある実体験を得られる貴重な機会として、ずっと大切にしています。






獅子舞




民族歌舞団「荒馬座」をお呼びして、地域の方や近隣保育園の子どもたちと一緒に獅子舞を鑑賞します。踊りを楽しんだあとは、「一年間、健康で元気に過ごせますように」と頭を噛んでもらいます。「大丈夫だよ！」と子ども同士で励ましあう姿や「噛んでもらった！」と誇らしげな顔も見られます。子どもの成長を願い、感じる、緑が丘地域の風物詩になればいいなと願っています。




卒園式


卒園証書をもらい、保育園での思い出や小学校での楽しみなことを一人ひとりが自分の言葉で発表します。在園児の代表として参加するぎりぐみさんから、お祝いの言葉と歌のプレゼントがあり、「次は自分たちがぞうぐみになるんだ」と思いを強くしていきます。保護者と保母から、子ども一人ひとりへ送られる「おめでとう」「ありがとう」のメッセージは、涙なしには聞けません。



20歳（はたち）のお祝い会

“20歳になった卒園児と職員がお酒を酌み交わす”職員にとってこんなに幸せなことはありません。久しぶりの保育園に緊張しつつ集まる卒園児。「こんなに小さなイスだったっけ？」と懐かしみながら、少しずつ昔のことを思い出しながら戻っていく何とも言えない良い時間です。お父さんお母さん、そして職員の愛情をたっぷり受けてここまで育ってきた、そのことを伝えたい行事でもあります。



06 大切にしていること

1 自ら考え、行動する力

子どもたちは遊びや活動の中で、他者の意見を知りながら自分の考えも伝え、どうすれば良いのか自分たちで考えて行動する力身につけます。大人や友だちとの安心できる関係を大切に育てることで、失敗しても試行錯誤して、何度でも挑戦しようとする意欲が育ちます。

保育士は「○○でしょ」と答えをすぐに伝えるのではなく、子ども自身が考えられるような安心できる存在として寄り添い、一緒に考える手助けをしています。

2 異年齢保育

三〜五才が一緒に生活する異年齢保育は、きょうだい関係のように自然な社会をつくり、また、月齢差に左右されづらいことも特徴です。

五才の子どもたちは毎日、三、四才の子どもたちの分まで、昼食とおやつ配膳をしています。下の子どもたちにとっては常にあるが、その存在であり、慕われたり頼られたりする中で、大きくなることの喜びを実感します。

下の子どもたちは「わたしもぞうぐみになったらやりたいな」と背伸びして、果敢に挑戦するようになります。

何より、異年齢の集団はできることとできないことが誰にも当たり前に存在しているの、「○○でないといけない」という固定概念から離れた多様な価値観を感じながら成長している環境になっています。

3 ふれあい

赤ちゃんは産まれてから、不快な気持ちを泣いて表現し、おっぱいをもらったり、寝かしてもらったりして、心地よいことをしてくれる人を特別な存在として認識します。

緑丘保育園では、乳児期に布オムツを使用しています。それは、オムツ交換の時間をより特別な時間にするためです。布オムツは綿で肌に優しい一方、紙オムツに比べてどうしても手がかかります。その特性を活かし、集団保育の慌ただしさの中でも、一対一になって「きもちわるかったね」「きれいになったね」とふれあう時間に使っています。二才からは「自分でできる!」という子どもの思い(発達)を大切に考え、紙パンツを使用しています。

4 父母と共に

子どもを真ん中に、父母も保育園も共に育ち合いたいと考えています。「子育てって

大変だけどおもしろい」と思えるように、一緒に喜んだり悩んだりしながらつながっていったらいいと思います。保育園には保育士・栄養士・看護師と専門職が揃っているの、アドバイスもしますが、正論だけでは通用しないのが子育てです。つらいときは保育園なんでも言える、そんな関係が理想です。

5 見・守る

また、父母会があるので、クラスを超えて保護者同士がつながり合えます。卒園しても続くこの関係は、子育てをする上でとても貴重な宝物になるはずですよ。

看護師一名が常勤職員として勤務しています。日々の怪我や病気への対応、保護者の方からの相談にもお答えしています。

子どもは自分のできないことに挑戦しながら先の成長を自分のものにしていきます。そのような要求が自然と湧き上がってくるのが子どもの姿で、その内なる要求を叶えていくことで、意欲が育ってきます。そのために「転ばぬ先の杖」で、なんでも危ないよと止めることはしません。そのため、軽微な怪我は必要なものと考えています。一方で、命にかかわるような大きな怪我は未然に防ぐように「ヒヤリハット」報告な

7 国産無添加

園の食事は、国産、無添加の原材料を極力選び、市販品を使わないようにしています。離乳食、昼食、おやつ、延長のおやつ、夕食も栄養士・調理師の手づくりです。アレルギーや発達は一人ひとり違うので、離乳食を食べる様子を毎週栄養士が見に行きながら、丁寧に進めています。

8 職員の学び

毎年九月と二月に「保育まための会議」を開催。保育士だけでなく、調理・看護師・事務職員も含めて職員が全員集合します。各クラスの活動報告、保育の工夫や声掛けの方法、どのような課題にどう取り組んだかを発表し合い、意見を申し合うことで、職員全体の情報共有・スキルアップにつながっています。卒園までの一人ひとりの子どもたちの成長発達に職員全員が関わり、大切に考えていく場になっています。

07 入園準備



アイテム	備考	数量	対象	持参頻度
<input type="checkbox"/> 肌着	半袖	2-3枚/日	全員	毎日
<input type="checkbox"/> 半袖・長袖	シンプルな形（フード付き不可）	2-3枚/日	全員	毎日
<input type="checkbox"/> ズボン	動きやすく着脱しやすいもの	2-3枚/日	全員	毎日
<input type="checkbox"/> おむつカバー	マジックテープ型を推奨	2-3枚/日	0-1才	毎日
<input type="checkbox"/> 食事用お手拭き	タオルハンカチ	2-3枚/日	0-2才	毎日
<input type="checkbox"/> 食事用エプロン	ウォッシュタオルにゴムを通したもの	2-3枚/日	0-2才	毎日
<input type="checkbox"/> 水筒	午前中、散歩時の水分補給に使用	1つ	3-5才	毎日
<input type="checkbox"/> コップ	うがいや保育園のお茶を飲むのに使用	1つ	3-5才	毎日
<input type="checkbox"/> 敷布団カバー	交換用含む	2枚	全員	週1回
<input type="checkbox"/> タオルケット	通年で使用（バスタオル可）	1枚	全員	週1回
<input type="checkbox"/> ベビー毛布	冬に使用	1枚	全員	週1回
<input type="checkbox"/> 水着	プールや水遊びに使用	1枚	1才～	夏は毎日
<input type="checkbox"/> タオル	プールや水遊びに使用	1枚	全員	夏は毎日
<input type="checkbox"/> ぞうきん	入園時に寄付をお願いしています	3枚	全員	入園時のみ

※ 数量は目安です。洗濯頻度等により、多めにご用意されるご家庭もあります。入園前に詳しくご説明しますのでご安心ください。

08 よくある質問



連絡手段は？

毎日の様子は連絡ノートを使用します。ご家庭で毎日手書きで記入されるのは大変だと思いますが、日々の成長記録を大きくなってから読み返すのが楽しみとじてくださる方も多いです。また、当日の登園時間の変更やお休みの連絡などは、朝8時までにお電話ください。一斉のご案内や緊急時の連絡にはメール連絡網などを使用します。

ベビーカーや自転車は置けますか？

保育園の入り口付近にベビーカー置き場があります。畳んでいただければ、置いたまま仕事に行っていただけます。残念ながら、駐輪場と駐車場はありません。地域の方の迷惑にならないように、自転車は登降園時だけ園の前に置いてください。車での送迎は路上駐車せず、必ずコインパーキングを使用してください。

発熱時は？

38度以上の発熱時はお迎えをお願いしています。また、前日に38度以上の発熱があった時は24時間経過を見てからの登園をお願いしています。いつもと違う様子がある時は、看護師と相談してご連絡することがあります。平熱や症状には個人差がありますので、一人ひとりのいつもの様子をご家庭と共有していくことが大切だと考えています。

お薬の対応は？

薬は保育園では対応していません。日中飲まなくてすむように、かかりつけの医師に保育園に通っていることを話して、1日2回（朝夕）での処方をご相談ください。乾燥肌で医師から塗り薬を処方されているなど、外用薬で生活に必要なものはお預かりして対応しています。わからないことがあれば、常駐している看護師にいつでもご相談ください。

保護者にきいた

緑丘保育園のここが好き！

若い保母からベテラン保母、男性保母など幅広い世代の**心強い厚い保母たちの層**！ こどもは本当に保母たちが大好きです。（2才,ママ）

こども第一で保育を考えてくれるところ。**異年齢保育**。**地域とのつながり**のある行事や、外遊びにも、昔ながらの保育園の**温かさ**が残っていると思う。（5才,ママ）

園庭がない園でも、**朝夕と散歩**に連れていってくれる為、我が子はよく歩く。3歳でお出かけした際、ロープウェイを乗らずに大人の足で40分という道のりを、一度も抱っこと言わずに下山するほど体力がありました。これも、**毎日たくさん外遊び**させてくれる園のおかげ。（3才,ママ）

どの保母さんもすごくいい人ばかり、**何事にも真摯**に取り組んでくれており非常に感謝しています。保育園に入るかどうか悩んでいた時（息子が4か月）のことです。哺乳瓶でミルクを飲んでくれず、母乳だけだったため断られるかな、、、と思っていたのですが、保母が「飲めるようになります。一緒に頑張りましょう」と力強くいつてくれたのは私も妻も非常に心救われました、、入園してからも、**子どもの様子を事細かに伝えて**くれたり、いろんな**イベントに一生懸命**取り組んでくれている様子を見て入ってよかったなと思います。（2才,パパ）

雰囲気が良く、穏やかな空気が流れているところ。（1才,ママ）

初めて登園した際に、担任の保母さん以外の方からも声をかけていただけ緊張がほぐれました。**園全体で子どもたち一人一人を見守って**くださっているのだなあと感じました。（0才,ママ）

昔ながらの行事を通して、友達、異年齢の友達、地域の方と交流を深められる！（お泊まり会、納涼会でのスイカ割りや飲食のある出店、バザーなど） 毎日の中で、**子ども同士の対話**の中での**成長を大事**にしている事が伝わってくる（子ども達の会議や、喧嘩の内容を丸々教えて頂けるのは、とても有り難く、楽しく拝見させて頂いています）（1才,ママ）

子ども同士も仲良しですが、送迎時にすれ違う時、**親同士でも笑顔で挨拶**ができるのが嬉しいです。納涼祭やバザー、お泊まり会、遠足などなど、**イベントが目白押し**で、子どものいい思い出になるし、刺激もあって楽しいです。立地が**線路脇**なので、電車好きな子にはたまりません。（2才,ママ）

「できる」「できない」より大切な「自分は大丈夫」を育てたい

安心して自分を表現できる居場所づくり

学生時代から地域の子どもも活動に指導員として関わる中で、小中学生が仲間や大人からありのままの自分を認められ、安心して自分を表現できる居場所づくりの重要性を強く感じました。

社会に出ていくまでに自己肯定感がしっかり育っていることが大切です。そのために地域ぐるみで子どもを育ちを見守ることができるよう、保育園で働きながらその役目を果たしていきたいと考え保育士になりました。

自分を大切に思い、人を思いやれる人

多様性の尊重が求められる世の中になってきましたが、ゆとりのない中で「みんな一緒」が求められることも多いのが現実です。そんな中、保育園時代はゆとりと自分のペースで生活し、成長・発達できる貴重な期間です。「できる」「できない」という価値観ではなく、集団生活の中で一人ひとりの思いが理解・尊重される「ありのまま」の自分を好きになれる保育を目指しています。

幼児クラスの異年齢保育では、異年齢のなかまの中で頼り頼られながら、他者との関わり方を学びます。その中で人を思いやる心が育ち、同時に、自分たちで一日の生活を作っていく主体性も育まれます。

保育園の六年間で「自分は自分のままで大丈夫」という、生きる上でとても大切な、強い根っこ部分を育ててほしいと思っています。

よりよい職員集団が、よりよい保育をつくる

保育園も色々な人がいる、みんなちがって当たり前の社会です。子どもたちと同じように、職員同士がお互いの様々な価値観を認め合い、支え合って仕事をすることが大事です。

また、職員が子育てに関わるプロとしてやりがいを持ち、自分の力を存分に発揮するため、働きやすい職場づくりをすることが園長である私の役割と考えています。



緑丘保育園のこれから

一九六九年に開園してから、栄養士配置や延長保育など、子どもの成長や保護者の就労支援に必要と思われることを保護者と共に考え、実現してきました。保護者の集まりである父母会と共に保育園をつくってきた歴史は大切に守っていきたくて考えています。

一方、バザーや納涼会など、父母会との共催行事は保護者の負担が大きくなるならないように、共にその価値を確かめ合いながら進めていきたいと思っています。

時代の変化や今の子どもたちの姿、保護者の方々の状況や思いに寄り添うこと。「これは変える、これは変えない」と一律に決めてしまわずに、みんなできるとん話し合うこと。保護者の皆様のご意見をたくさん聞いて、共に緑丘保育園のこれからをつくっていきます。

保育園の担う役割

「この地域に保育園があつてよかった」と多くの方に思っていただけであることを考えています。保育園に通う子ども・保護者だけでなく、地域社会の中で様々な方が出入りしながら互いに学び合い、支えあえる場になれるといいなと思っています。

「ただいま」が集まる場所

緑丘保育園は、関わる人全員で一人ひとりの子どもの育ちを見守っていきける、アットホームなおうちのような保育園です。

職員もみんな長く働いているので、卒園児がいつでも「ただいま」と帰ってこられる、いつでも当時の職員が「おかえり」と迎えてあげられる、そんな「心の故郷」であり続けたいと願っています。



遠山 拓郎 とおやま たくろう

1977年、東京都世田谷区生まれ。九品仏小、八幡中、明正高を経て、日本音楽学校幼児教育科保育士コース卒業。2000年緑丘保育園勤務、2007年尾山台保育園に異動、2012年主任、2017年園長就任。2023年から現職。世田谷区民間保育園連盟（園長会）役員就任、現在は目黒区私立保育園園長会にて世話人を務める。

主任はどんなひと？

菅野 真里 かのまり



下町の葛飾区で育ちました。子どもが好きだったことと、専業主婦だった母を見て育ったので、「安心してお母さんが仕事に行ける手助けがしたい」とと母を目指すことに決めました。

長年勤めて感じる緑丘保育園の良さは「保育園と保護者の皆さんが同じ目線で共育する関係を築けること」です。

園や家庭の様子を伝えあう中で、子どもの育ちを一緒に考えあう仲間というのでしょうか。普段の送迎や行事の折など、子どものことだけでなく自分たちのことも話し合うなかで、人となりを知り信頼関係が増していくのかな、と思います。子どもたちが成人しても親子で遊びに来てくれる場所。今、通っている子どもたちも、卒園して巣立った子どもたちも、疲れたらいつでも帰ってきていい場所でありたいです。

また、そんな子どもたちやお母さんお父さんの笑顔に、私はたくさん元気もらっています。

達成感あり！

保護者にきいた

緑丘保育園で 頑張ったこと

正直、入園前になんとか面倒くさそうと思っていたのは**布おむつ**でした。でも思っていたより大変ではなかったかなと。布おむつは保育園側で洗っているのうんちと格闘することはなく（笑）、帰るときには紙おむつにかえてくれています。おむつカバーは毎日洗いますので、その大変さはあります！でも紙おむつ一つ一つに名前を書く手間を考えると、最も大変な時期に布おむつにしてくれて**助かったのかなー**と思ったりしました。（5才,ママ）



人形づくり。裁縫に慣れていないと時間がかかる。特に人形サイズの洋服を作るのが難しかった。**達成感と人形愛**が生まれた。うさぎ組が3階なので、上り下りの**階段**が大変だった。**いい運動**になりました。（4才,ママ）



入園準備。どこの保育園も同じだとは思いますが、服や布団カバーなどの準備が大変でした。それだけでなく復職前でやることが多い中、初めてのことでわからないことも多く、とにかく不安でした。思い切って保母に聞いてみると、とても親身になって、細かなことも**何度でも答えてくれて助かりました**。（3才,ママ）



父母会の活動は入園した当初は、働いている親ばかりなのに本当に必要なかと思いましたが、実際に活動イベントを通して子どもたちの喜ぶ姿をみて、頑張ってもいいのかなという思いに変わりました。保護者の負担を考え、今後もブラッシュアップしながら出来る範囲で協力して続けられたらいいなと思います。父母会を通して保護者の横の繋がりでなく縦の繋がりができ、**保育園卒園後の小学校入学の際、習い事、地域のスポーツクラブで、私自身も先輩ママさんパパさんに助けられたので**今後もそのような繋がりができていけばいいなと思います。（4才,ママ）

父母活動は、やはり大変。でも、子どもと過ごす時間は人生で考えるとあっという間で、振り返ってみると、やっぱりすべて良い思い出。大変ではあるけど、**その分大切な思い出がたくさん出来るから、やっぱりこの園で良かったな**と思っています。（3才,ママ）



年度末の**文集作り**は、はじめ大変だな～ちょっと面倒くさいな～と思ったのですが、改めて我が子の成長の一年を振り返れる機会にもなり、毎年のように手作りの成長記録が出来上がると思うと、**大きくなったら子どもに見せてあげたい**という楽しみも出来ました！（2才,ママ）



まだまだあった！

保護者にきいた

緑丘保育園のここが好き！



園庭はなくても安全で桜やダンゴムシもいっぱい緑道や、すぐ近くの二丁目公園、園の前の広場、隣を走る鉄道など遊ぶ場所、楽しい場所がたくさんあるので、普通の園庭しかない園と比べてもとても贅沢ともいえる環境です。幼児クラスの**3学年異年齢保育**は、同年齢保育と比べ、学べることや体験が圧倒的に多い。教わったり、教えてあげたりする環境やいろんな人間関係のなかで目に見えて成長を実感します。とくに兄弟姉妹のいない一人っ子には最高の環境だとおすすめできます。また、**給食が美味しい**らしく、家では食べなくても、給食では食べるということが多い。メニューもユニークなものがあり興味をひかれます。そしてやはり、職員の皆さんの**温かい取り組み**。各種イベント、こまめにいただけるお便りや連絡帳、遠い公園までのお散歩など、頭が下がります。**信頼できる**方ばかりで安心していきます。20歳の同窓会が実施できているのもその結果だと思います。(4才、パパ)



異年齢保育。友達の幅が広がる。年下の子は年上の子たちのように自分もできるようになりたいと向上心が生まれる。年上の子は年下の子達をお世話したり、年下の子達から慕われることによって、年上としての自覚や自信が芽生える。**行事がたくさん**。運動会の他にも、納涼会やバザー、クリスマス会、餅つきなど、他の保育園に比べて行事が多いので、子どもたちに素敵な経験をさせてもらえる。(4才、ママ)



緑丘保育園の魅力は**職員の皆さまのお人柄**です！保母は子どもたち1人ひとりに丁寧に向き合ってくれます。お迎えに行くとお友達とのほっこりするエピソードや成長を感じる行動、面白い発言など色々お話をしてくださるので、保育園での様子を知れて嬉しいです。時にはお友達とのトラブルなどありますが、ただ注意するだけでなく**子どもたちの気持ちに寄り添って対応**してくれます。自分の気持ちも大切にしつつ相手の気持ちも考えて行動できるよう、年齢に応じてお話をしてくれました。丁寧に対応していただいて本当にありがたいです。子どもだけでなく保護者の私も子育てに悩んだ時**親身に話を聞いてアドバイス**をしていただきとても助かりました。(5才、ママ)



緑丘保育園の好きなところは、**とにかくアットホームで親身**なところ。親子ともに育てて頂いてると感じるくらい、個々の家庭に寄り添ってくださります。クラスの**父兄たちも和やかな雰囲気**で、とても**フレンドリー**。緑丘保育園は、保育園にいる時間だけの、保母と園児とその父兄、という関係を超えた、**人と人の温かい関わり**を感じることができます。また、**伝統や行事**を大事にしているところも素敵！子どもたちに色々な経験をさせてくれます。高学年の子の荒馬の練習～本番や、低学年の子のMYお人形など、**文化的な教育**をしてくださいます。またバザーや納涼会などの行事をきちんと執り行うことは、子どもたちに良い刺激を与える、かつ子どもたちの地域との密着を強め、皆が皆の顔を知っている**安全な環境づくり**にも繋がります。他には、**給食が園で作られている**ことも良いところ。時折保護者が野菜を購入する機会も設けられ、こだわりの食材が提供されていることが分かります。初めは、子どもが長時間親と離れ、保育園で生活するということが子どもに悪影響では無いかと不安でしたが、保母やお友達の人柄などが分かる**親しみある雰囲気**、**健康的な生活や素敵な教育**、**活気ある行事**の中で、3年目。息子は伸び伸びとしつつもたくましい3歳児に成長し、今は安心して送り出すことができます。(3才、ママ)

1969

緑丘保育園開園
定員40名（0歳20名・1才20名）
区内唯一産休明け保育園

1986

就学前までの一貫保育開始
園舎の増築

2001

みどりが丘ふくしかん開設

2004

園舎の全面改築

2007

姉妹園「尾山台保育園」開園

2018

幼児（3-5才）異年齢保育開始



みどりがおか
ほいくえん

社会福祉法人 民友会 緑丘保育園

〒152-0034 東京都目黒区緑が丘2-16-6

Tel 03-3723-1470 Fax 03-3723-1464

Mail midorigaoka@tokyo.email.ne.jp



この入園のしおりは、緑丘保育園の保護者が中心となり、保育園の職員と共に制作したものです。

とても素敵で大好きな保育園…なのに、それが十分に伝わっていないのではないか？緑丘保育園に興味を持ってくださった方々に、この保育園の良さをもっと伝えたい！と思ったのがきっかけです。

入園前にちょっとめんどくさいと思ったことも、入園後にはかけがえのない宝物になりました。

この保育園をととして出会い、成長し、羽ばたく仲間が、ひとりでも多く増えることを心から願っています。 2023.9.1 初版